

令和7年度 自己評価書

学校名 北海道おといねっぴ美術工芸高等学校

1 学校教育目標

造形体験を重ね、創造力を育成する
 ○基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
 ○個性を生かし、豊かな自己実現を目指す
 ○自然に親しみ、情操を豊かにする

2 本年度の重点目標

- (1) 基礎・基本の確実な定着を目指し、基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 確かな技術・技能の向上を目指し、生徒一人一人の個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活及び寄宿舎生活を通して、豊かな心と社会性を身に付けさせるための生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を通し、自己実現のため意欲と態度を身に付けさせる。
- (5) 生徒が、安全かつ安心して学習ができ、学校生活が送れる環境を創り上げる。

3 自己評価結果

分野 領域	評価項目	達成 状況	職員		取組 の 適切さ	職員		改善の方策
			アンケート 評価	アンケート R06		アンケート 評価	アンケート R06	
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	4.56	4.64	A	4.50	4.64	・学校評価の活用 ・カリネ視点の改善
	2 スクール・ミッションやスクール・ポリシー、学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	4.44	4.57	A	4.50	4.64	・目標と実践の連動 ・方針と実践の連動
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	4.69	4.71	A	4.63	4.79	・生徒アンケートの活用 ・教育課程の点検・改善
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	4.38	4.50	A	4.56	4.64	・授業研究の推進 ・主体的学びの質向上
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	4.25	4.71	A	4.31	4.71	・基礎学力定着の強化 ・指導法の共有化
	6 主体的・協働的な学びを実現するため、端末を積極的に活用している。	B	3.94		A	4.00		・朝学習と授業の連動 ・専門性向上研修の充実
	7 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に努めている。	A	4.44		A	4.44		
生徒指導	8 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	4.25	4.64	A	4.44	4.71	・寮生活の点検と見直し ・組織的生徒理解の推進
	9 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	4.25	4.64	A	4.38	4.79	・危機管理体制の確立 ・関係機関と連携した安全教育の推進
	10 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	4.44	4.71	A	4.50	4.79	・教育相談の早期支援体制の充実 ・多様な背景の把握と情報共有
いじめへの対策	11 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	4.69	4.64	A	4.69	4.71	・相談機能の充実と情報共有の徹底 ・家庭、寮との緊密な連携
学校行事 課外活動	12 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	4.50	4.36	A	4.44	4.36	・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化
	13 部活動の活発な活動を推進している。	A	4.50	4.50	A	4.44	4.43	・寮生会活動の活性化 ・学校行事と寮行事のバランス確認
進路指導	14 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	A	4.13	4.57	A	4.13	4.64	・先輩からの助言に基づいた指導 ・意識醸成のための適時な情報提供
	15 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	4.06	4.50	A	4.06	4.43	・インターンシップの活用 ・異校種、産学連携の推進
	16 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	4.13	4.57	A	4.25	4.64	・進路指導の体系化 ・家庭連携の深化
	17 家庭や関係機関と密な連携を図り、情報を共有している。	A	4.31		A	4.50		・ICTを活用した進路相談体制の推進
健康安全 指導	18 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	4.44	4.64	A	4.50	4.64	・防災訓練の工夫改善 ・安全教育の推進
	19 生徒の生命安全性を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	4.56	4.86	A	4.63	4.93	・危機管理マニュアルの見直し ・感染症対策の一層の徹底
	20 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	4.44	4.64	A	4.63	4.79	・教育相談後のフォローアップ体制の構築 ・関係機関との連携
	21 あらゆる情報を正しく扱える能力や情報モラル、情報リテラシーに関する知識を身に付けさせている。	A	4.44		A	4.44		・心のケア体制強化 ・情報モラル指導の推進
研修	22 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	4.25	4.79	A	4.38	4.71	・実践的な校内研修の充実 ・研修成果の還元
組織運営 ・ 保護者、 地域住民 等との連携	23 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	4.44	4.64	A	4.50	4.64	・校内組織の情報の共有化 ・働きやすい職場の推進
	24 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	B	3.63	4.00	B	3.81	4.14	・PTA活動の充実 ・HP等の情報発信の工夫改善
	25 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	4.50	4.57	A	4.56	4.71	・協働体制の一層強化 ・報道機関への情報提供
	26 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	B	3.94	4.43	B	3.94	4.50	・広報活動の充実 ・地域・保護者との連携の充実
	27 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	A	4.38	4.57	A	4.50	4.57	・働き方改革のより一層の推進
その他	28 学校評価を分析し、課題を見つけ出し、解決するための取組を行っている。	A	4.13		A	4.19		・学校評価を活用したPDCAの徹底 ・危機管理体制の強化
	29 BCP(業務継続計画)や危機管理マニュアルの見直しと改善を図り、学校安全の確保に努めている。	A	4.25		A	4.38		・研修による理解深化 ・サービス意識の継続啓発
	30 日常的な指導や研修等により、服務規律の保持に努めている。	A	4.56		A	4.63		

※ 評価基準

A: 充分である=4.0以上 B: 概ね充分である=3.5以上 C: 不十分である=3.5未満 D: 改善を要する=3未満

4 次年度以降の目標設定に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- (1) 各重点目標の更なる推進を目指す(分掌間の連携を大切に、互いにサポートする体制の構築)
- (2) スピーディーで確実な実践に努める。(短期的視点での改善と長期的な視点での改善を見極め、改善を図る)
- (3) 本校の特色ある取組を、保護者・地域の方々に様々な方法で発信する。(HP及びInstagram等SNSでの情報発信や報道機関をととした情報発信)
- (4) 保護者、地域住民との連携を深め教育活動への理解と協力を得る。(学校運営協議会を中心とした連携強化)